

総社LC 冊子作製し市に寄贈

大津波に備え対策提言



冊子を手にする清水さん

総社ライオンズクラブは、冊子「東海〜日向線4連動地域の津波対策と総社地域の災害の歴史」を作製した。文科科学省の調査や県内外の古文書を分析

し、江戸時代に東海、東南海、南海、日向線の4連動地震が発生し大津波が県南部を襲った可能性を指摘。対策として、地震発生から津波到達までの間、倉敷―総社市の道路を北向きの一方通行にして同市内の学校などへ車を誘導▽浮き輪代わりとなる空のペットボトルを常備―などを提言している。

同クラブの清水男・前会長が中心となって文献を調査し、執筆。市の協力で作った総社の災害史(風水害なども含む)の一覧表も掲載している。

A4判、40ページ。千部作製。市に100部寄贈したほか、県内外の自治体や経済団体に配る予定。希望者には贈呈する。問い合わせは同クラブ(08667200)。(森元俊一朗)